

学科名	ミュージックアーティスト科
コース名	サウンドクリエイターコース
授業科目	専攻実技3
必選	必
年次	2年次
実施時期	前期
種別	実習
時間数	30
単位数	1
担当教員	川島、杉山、須藤、古峰
実務経験	有
実務経験職種	作編曲
授業概要	各人の個性を伸ばす実技レッスンです。
到達目標	「卒業制作」を作るスキルを体得することを到達目標とするが、 4種の発表方法（ビジネスプランおよびデモ作品、Real Dreams 2023、共同研究成果、作品）のいずれかで、課題を学生と共に検討し、個別最適化されたフィードバックを提示し、目標を達成していく。経済的基盤または社会的基盤における再現性・継続性が見込めるということが最上位目標となる。
授業方法	毎週違った「推薦曲」をアレンジの側面から分析。西川進オリジナル作品のシステムを使い、アレンジのテクニックを色々な視点から学び実践して行く。オリジナリティとビジネス的観点に沿ったアレンジや作曲、ミックス、マスタリングを行い、プロデュース能力を身につける。
成績評価方法	提出物60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)
履修上の注意	専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	オリジナル教材を使う。

授業計画	
第1回	リハーモナイズを使ったアレンジを考える（その曲のキーを探るには）
第2回	リズムの捉え方を考える（早い印象、遅い印象）
第3回	共通音フレーズでのアレンジ
第4回	キラキラ感を何で出すか
第5回	格好いい終わり方とは
第6回	制作のための授業（ミックス、マスタリング、書き出し、提出、プレゼンシート制作）
第7回	作品の授業内発表（プレゼンシートと共に）
第8回	ギターアンプとエフェクター徹底研究
第9回	アコースティックギター徹底研究
第10回	ギターを使ったハーモニーの研究
第11回	民族楽器を使ったアレンジ徹底研究
第12回	オルガンの音色徹底研究。
第13回	ピアノの音色とエフェクト徹底研究
第14回	制作のための授業（ミックス、マスタリング、書き出し、提出、プレゼンシート制作）
第15回	作品の授業内発表（プレゼンシートと共に）